

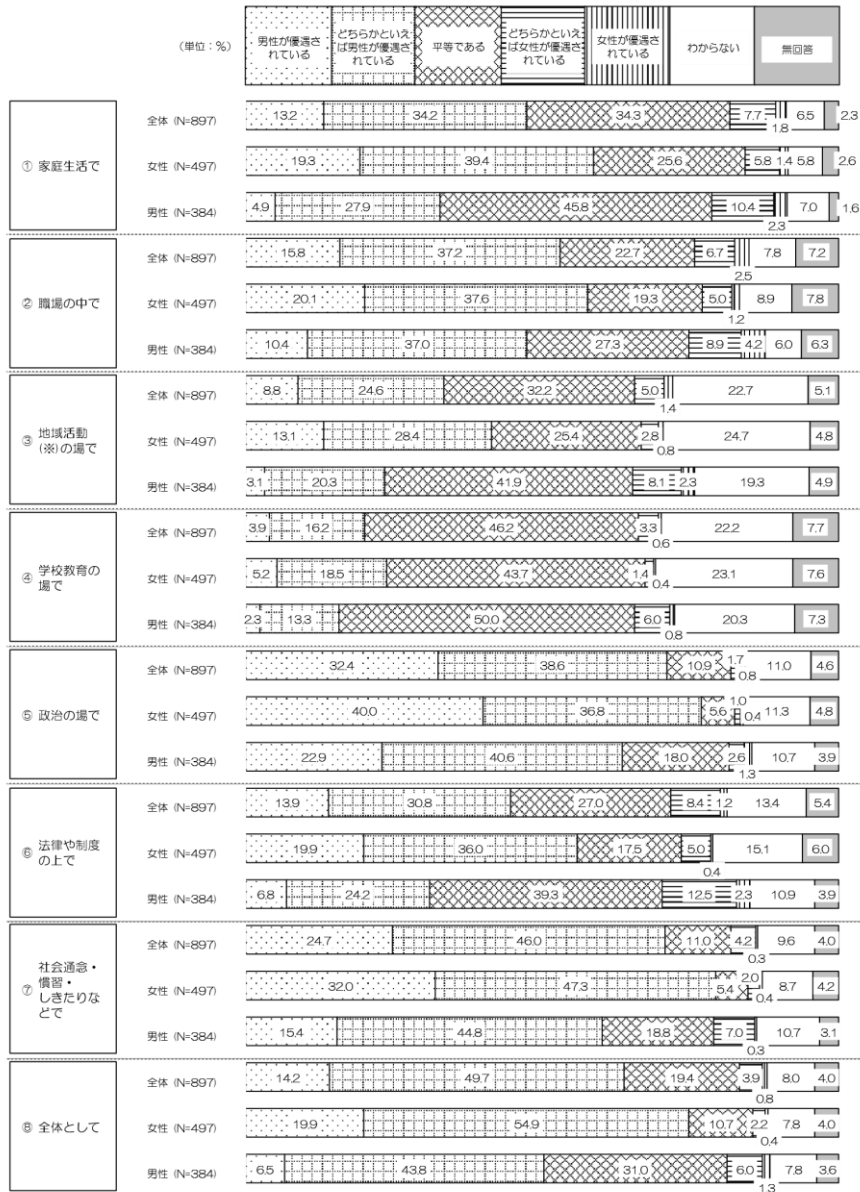
男女共同参画社会に関する府民意識調査（令和元年12月大阪府調査：抜粋）

1 男女の地位の平等について

(1) 男女平等の現状認識

問1. 次にあげる分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（〇はひとつずつ）

〔図表 1-1 男女平等の現状認識（性別）〕



※「地域活動」とは自治会、PTA、民生委員、NPOやボランティアでの活動などを指します。

(対応する八尾市調査)

⇒ 資料1 15ページ～

問7 男女平等に関する意識について

2 男女の役割分担について

(1) 性別役割分担意識

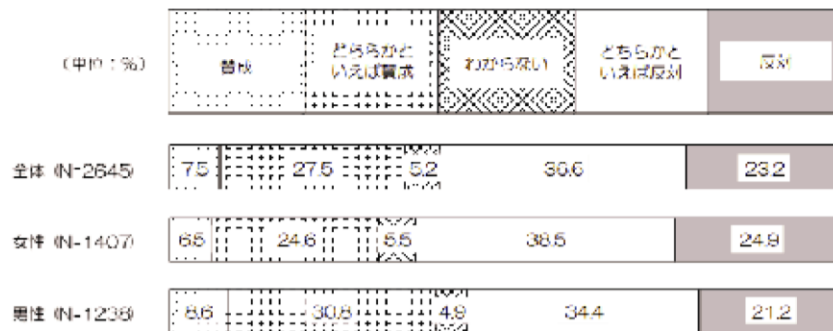
問3. 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○はひとつ)

〔図表 2-1 性別役割分担意識 (性別)〕



<内閣府 (令和元年度) 調査結果>

〔図表 2-1-1 性別役割分担意識 (内閣府調査比較)〕



【「男は仕事、女は家庭」という考え方に、女性の29.4%、男性の40.9%が『同感する』】

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、『同感する』(「そのとおりだと思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合)は34.0%、『同感しない』(「どちらかといえばそう思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合)は64.8%となっている。性別で見ると、『同感する』は、女性29.4%、男性40.9%で、女性の方が11.5ポイント低くなっている。(図表 2-1)

【内閣府調査との比較】

平成28年度の内閣府調査では、『賛成』が40.5%、『反対』が54.3%となっていたが、令和元年度調査では、『賛成』が35.0%、『反対』が59.8%であった。前回調査と比べ、賛成は5.5ポイント減、反対は5.5ポイント増となっている。

今回の大阪府調査の『同感する』と内閣府の令和元年度調査の『賛成』を比べると、内閣府の方が1.0ポイント高く、『同感しない』と内閣府調査の『反対』を比べると、内閣府の方が5.0ポイント低くなっている。

(対応する八尾市調査)

⇒ 資料 1 19 ページ

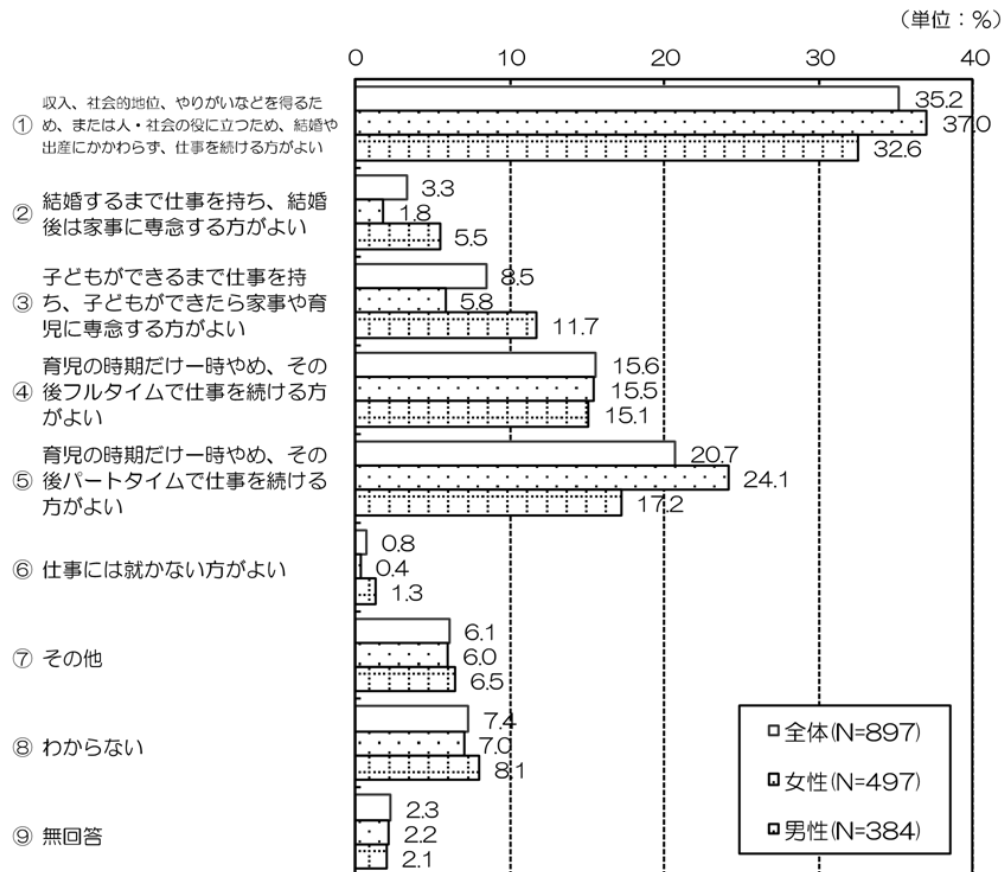
問8 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方について

5 職業生活について

(1) 女性の働き方についての考え

問9. 女性の働き方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

〔図表 5-1 女性の働き方についての考え (性別)〕



【男女とも「収入、社会的地位、やりがいなどを得るため、または人・社会の役に立つため、結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が高い】

女性の働き方についての考えは、「収入、社会的地位、やりがいなどを得るため、または人・社会の役に立つため、結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が35.2%で最も高く、次いで「育児の時期だけ一時やめ、その後パートタイムで仕事を続ける方がよい」が20.7%となっている。性別で見ると、「育児の時期だけ一時やめ、その後パートタイムで仕事を続ける方がよい」について、男性の方が女性より6.9ポイント低くなっている。(図表 5-1)

(対応する八尾市調査)

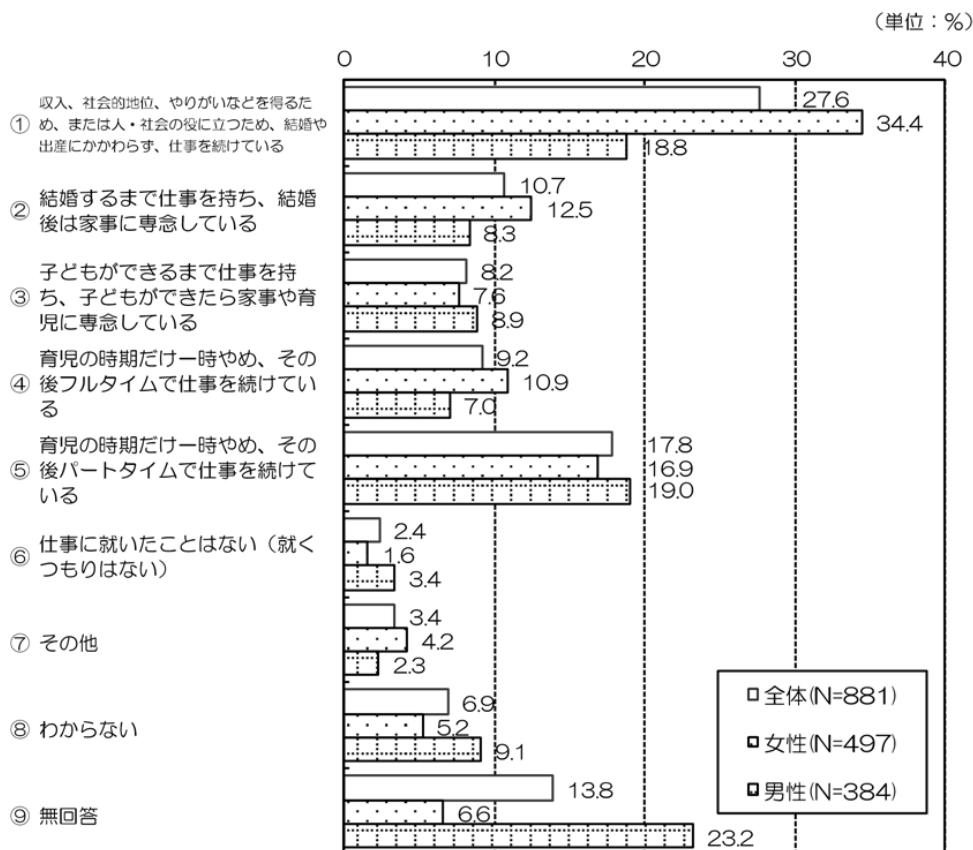
⇒ **資料 1** 37 ページ

問 1 4 女性が仕事に就くことについて、あなたはどう思いますか

(2) 実際の女性の働き方

問9-1. 【女性】あなたの場合、実際には、次のどれにあてはまりますか。又は、どのようにされるつもりですか。【男性】あなたの配偶者・パートナーの場合、実際には、次のどれにあてはまりますか。又は、配偶者・パートナーがいるとした場合、どのようにされると思いますか。(〇はひとつ)

〔図表 5-2 実際の女性の働き方 (性別)〕



【実際の働き方も「収入、社会的地位、やりがいなどを得るため、または人・社会の役に立つため、結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている」が高い】

実際の女性の働き方をみると、「収入、社会的地位、やりがいなどを得るため、または人・社会の役に立つため、結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている」が27.6%で最も多い。次いで、「育児の時期だけ一時やめ、その後パートタイムで仕事を続けている」が17.8%となっている。

性別でみると、「収入、社会的地位、やりがいなどを得るため、または人・社会の役に立つため、結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている」が女性34.4%、男性18.8%となっており、15.6ポイントの差がある。(図表5-2)

(対応する八尾市調査)

⇒ 資料1 38ページ

問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。